

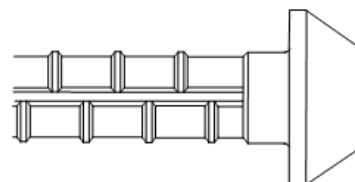
Trunc-head® (トランクヘッド)

Technical Sheet

SUMITOMO MITSUI
CONSTRUCTION CO.,LTD.

Trunc-head とは

「Trunc-head (Circular Truncated Cone head)」※, 鉄筋端部を鍛造により円錐台形状に拡張加工した機械式鉄筋定着工法に用いる定着体です。定着体は鉄筋母材と一体成型加工されるため継目がなく、母材と同等の強度特性を有しています。プレキャスト製品の接合部や定着部に適用できます。また、高密度配筋となりがちな鉄筋定着部を改善できるため、現場における省力化や合理化により工期短縮等にも寄与します。



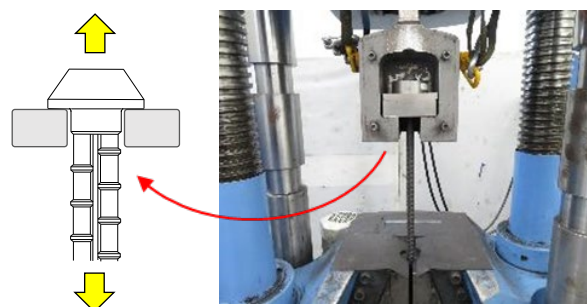
材質:SD345 鉄筋径:D13~D25



円錐台形状に拡張加工した定着体「Trunc-head」

特徴

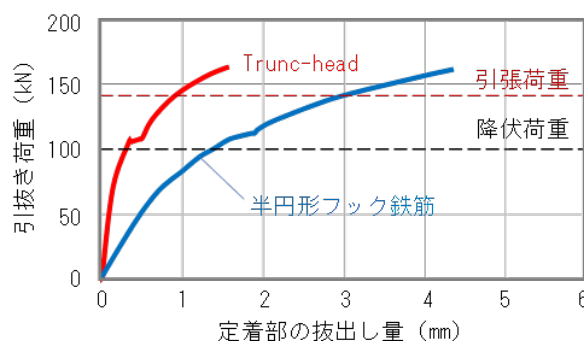
- 鉄筋端部の拡張突起により、コンクリートに機械的に定着します。「鉄筋定着・継手指針[2020 年版]」(土木学会)に則り、基本定着長から 10 φ (φ:鉄筋径)減じることができます。
- Trunc-head 単体での引張試験や勾配引張試験では、鉄筋母材で破断します。鉄筋母材と定着部との境界面は、降伏強度や引張強度の規格値を満足する性能を有しています。
- 高応力繰り返し試験では定着突起部の変状は見られず、引張強度の規格値を満足します。
- コンクリートに埋め込んだ引抜試験では、半円形フック鉄筋による定着よりも拔出し量が小さく、高い機械式定着性能を有しています。



万能材料試験機による引張試験

適用構造物

- プレキャスト PC 床版
- プレキャスト壁高欄
- PC ケーブルの定着突起



コンクリートに埋め込んだ引抜試験

※意匠登録第 1551641 号
商標登録第 6032808 号 「Trunc-head」